

入谷ブナ・ツガ・ウラジロモミ希少個体群保護林 [北山・十津川森林計画区]

管轄森林管理局	近畿中国森林管理局
所在地	奈良県吉野郡天川村
面積	81.03ha
設定年	平成28年

保護林の概要 (設定目的)	標高1,100～1,500mの急峻な山地にブナ、ツガ、ウラジロモミで構成される天然林がみられ、これらの希少化している個体群を保護・管理することを目的として設定。
------------------	--



林内の状況



樹皮剥ぎ

モニタリング調査の概要

実施年度	令和元年度
調査項目	樹木及び下層植生の生育状況調査、森林被害の発生状況調査等
調査手法	資料調査により森林タイプの分布状況、山火事・山腹崩壊・地すべり・噴火等の災害発生状況、樹木・下層植生の生育状況、野生動物の生息状況、論文等発表状況を把握。 森林概況調査では調査ルートにおける樹木・下層植生の生育状況、病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況を把握。 森林詳細調査では2プロットにおいて樹木・下層植生の生育状況、病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況を把握。 聞き取り調査により、事業・取組実績、巡視実績状況を把握。

結果概要

[希少個体群の生育・生息環境となる森林の状況]
・樹木の生育状況に顕著な変化はみられないが、ニホンジカの食害による下層植生の衰退がみられ、対象個体群の生育環境としては良好とは言えない状態である。

[保護対象種である希少野生生物の生育・生息状況]
・ブナ、ツガ、ウラジロモミの生育状況に顕著な変化はみられない。

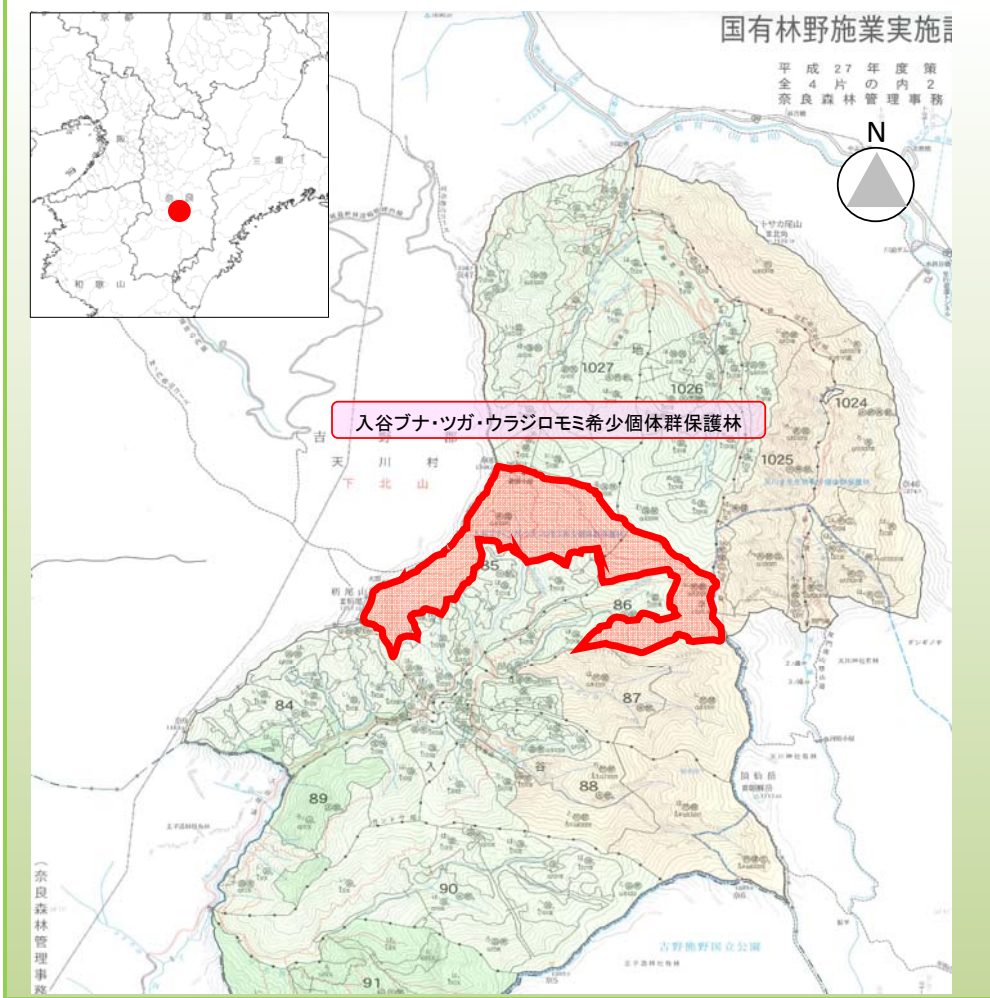
[学術研究での利用状況]
・過去5年間では学術研究等での利用はない。

[巡視等の実施状況]
・年1回程度の巡視を実施している。

[機能評価]
・ニホンジカによる下層植生の衰退がみられることから、対策を検討する必要がある。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

入谷ブナ・ツガ・ウラジロモミ希少個体群保護林 [北山・十津川森林計画区]



保護林内での 注意事項

- ★国有林内の動植物の捕獲・採取はできません。
- ★国有林内では火気厳禁です。禁煙にご協力ください。
- ★自然環境の保護と安全な利用のために、歩道等を外れないようにお願いします。